

- 9日から12日頃にかけて、強い冬型の気圧配置となる影響で、西日本の日本海側を中心に大雪となる見込み。普段雪の少ない西日本の太平洋側や東海地方の平野部でも積雪のおそれ。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、チェーンの早めの装着等をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

【1. 今後の気象の見通し】 8日17時00分時点

＜大雪に警戒が必要な時間帯＞

	9日	10日	11日	12日
関東地方北部 甲信地方	朝 昼 夜	朝 昼 夜		
北陸地方			↑	↑
東海地方			↑	↑
近畿地方			↑	↑
中国地方			↑	↑

大雪：↑ ↓

10日18時までの24時間に予想される降雪量は、いずれも山沿いの多い所で、

- 関東地方北部・甲信地方 30～50センチ
- 東海地方 40～60センチ
- 近畿地方 50～70センチ
- 中国地方 60～80センチ

その後、日本海側では西日本を中心にさらに降雪量が増える見込み。

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。

(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

【2. 過去の大雪における立ち往生事例】

平成29年1月22日から平成29年1月25日にかけての大雪

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約600台＞

- 平成29年1月22日から平成29年1月24日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置になり、特に23日から24日は上空に強い寒気が流れ込みました。この影響で、山陰や近畿北部では、22日から24日にかけての累積降雪量が100センチを超えるなど、西日本から北日本の日本海側を中心に大雪となった。

- 米子自動車道や鳥取自動車道等で、合計約600台の大規模な立ち往生が発生しました。
- 車両の移動および通行止め解除に約2日を要しました。



岡山県西粟倉村付近の立ち往生発生状況  
平成29年1月25日(水)

【3. 整備局など現場の対応状況】

- 各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。